

市民意見公募手続の実施結果

事案番号 11705

所管課名 企画戦略課

実施事案名 第6次松山市総合計画 後期基本計画(案)

意見提出期間 H30.1.9 ~ H30.2.7 30 日間

●意見の提出の有無 有 無

●意見の提出件数 個人: 9 件 (2) 人 【件数内訳】 持参: _____ 郵送: _____ Fax: _____ 電子メール: 9 その他: _____
 団体: _____ 件 _____ 人 【件数内訳】 持参: _____ 郵送: _____ Fax: _____ 電子メール: _____ その他: _____
 合計: 9 件 (2) 人 【件数内訳】 持参: 0 郵送: 0 Fax: 0 電子メール: 9 その他: 0

●意見の反映件数 3 件 / 9 件

★提出のあった意見の概要及びそれに対する市の考え方等

意見の概要	意見に対する市の考え方	政策等の案の修正内容
<p>◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>主な取り組み(1332)①の「通院にかかる交通費負担の軽減」を「遠隔診療の検討による通院にかかる負担の軽減」にしてはどうか。 【理由】 医師がネットやメールを通じて患者や別の医師からデータを送ってもらい、テレビ電話の映像などを見ながら在宅の患者を診察する遠隔診療の推進が、2017年6月に閣議決定された「未来投資戦略2017」に明記されている。遠隔診療を行うに当たっての課題を少しでもクリアするためのガイドラインも今後作成される予定であり、市でもそれに従って検討することによって通院にかかる負担の軽減をして欲しい。</p>	<p>◆政策等の案への反映結果 <input type="checkbox"/> 反映 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p> <p>島しょ部での医療については、医師の確保や交通の不便さなどの難しさを抱えており、情報通信技術を利用した遠隔医療などによる診療支援は、患者や医療従事者の負担を軽減する方策として、有効な手段の一つであると考えております。 現在、本市では、島しょ部航路運賃助成事業を実施することにより、島しょ部にお住いの方の通院にかかる交通費の負担の軽減を図っており、ご意見の遠隔医療については、システム導入や運用には多額の費用を要すること、遠隔医療に関する制度面や技術面ではまだまだ多くの課題があることから、今後も遠隔医療に関する国の動向や普及状況を注視するとともに、島しょ部の医療体制の充実の参考とさせていただきます。</p>	
<p>◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>主な取り組み(2111)②の「避難場所の整備や避難所標識の整備・維持管理を行うとともに、備蓄物資や必要な資機材などの整備を進めます」を「避難場所(福祉避難所や標識も含めて)の整備・維持管理を行うとともに、備蓄物資や必要な資機材などの整備を進めます」にしてはどうか。 【理由】 一般の避難所では生活に支障がある高齢者や障がい者、妊婦らを受け入れるために設けられる2次避難所「福祉避難所」も、あらかじめ確保し場所を周知すると同時に、福祉避難所に特化した物資も備蓄する必要があるため。</p>	<p>◆政策等の案への反映結果 <input checked="" type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 反映なし</p> <p>災害時に設けられる避難場所には、「指定緊急避難場所」、「指定避難所」、「福祉避難所」の3種類があり、平常時はそれぞれの本来の目的(学校や福祉施設など)に基づいて維持管理されることから、これまでは避難場所としての維持管理について記載していませんでしたが、実際には、応急給水栓や通信環境など、避難場所として必要な設備等の維持管理も行っていることから、ご意見の趣旨を踏まえ、基本計画を修正いたします。 なお、本市では、主な取り組み(2111)②により、平成28年度までに約80ヶ所の福祉施設等を福祉避難所として指定しており、今後も拡大予定であるほか、その場所については、誘導標識の計画的な整備や防災マップなどで周知に努めているところです。また、福祉避難所に特化した物資の備蓄につきましては、今後、国・県へ補助金申請を行うなどにより、整備していきたいと考えております。</p>	<p>主な取り組み(2111)②を次のとおり修正しました。 【修正前】 災害時に迅速な給水活動を行うため、指定避難所となる小中学校に応急給水栓を整備するなど、避難場所の整備や避難所標識の整備・維持管理を行うとともに、備蓄物資や必要な資機材などの整備を進めます。 【修正後】 災害時に迅速な給水活動を行うため、指定避難所となる小中学校に応急給水栓を整備するなど、避難場所や避難所標識の整備・維持管理を行うとともに、備蓄物資や必要な資機材などの整備を進めます。</p>
<p>◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>主な取り組み(2113)の浸水対策について、ポンプ場や雨水幹線の整備が行われてきたが、主要河川である石手川、重信川には土砂が堆積しており、河川の大雨水の処理能力は低下しているように思う。 昨年の台風による短時間の大雨による増水にも耐えられるよう、定期的に河川に堆積した土砂を除去し、大雨による水処理能力を向上させる対策も必要ではないか。</p>	<p>◆政策等の案への反映結果 <input type="checkbox"/> 反映 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p> <p>石手川及び重信川は、市が管理する河川ではありませんが、以前から、石手川・重信川の河川管理者である国と県に対しては、適切な維持管理についての要望をしております。ご指摘の昨年の台風では、重信川で氾濫危険水位を大きく超えるなどしており、早急に対策を実施するよう、今後も引き続き要望していきたいと考えております。</p>	

<p>◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>主な取り組み(3126)①の「中小企業経営者の資質向上や勤労者の人材の育成、業務効率化などによる経営改善の支援を行うとともに、資金調達容易となる融資制度や各種補助金の活用を促進し、中小企業や地場産業の経営基盤の強化を図ります」を「中小企業経営者に販売拡大や業務効率化、人材の育成など経営改善計画を立てさせ、それに基づき融資制度や各種補助金の活用を勧め、中小企業や地場産業の事業再生を図ります」にしてはどうか。</p> <p>【理由】 中小企業円滑法が期限切れになる前の2013年2月に地域経済活性化支援機構法が成立し、中小企業の返済条件緩和の条件として経営改善計画を立てることが求められるようになった。2016年7月から中小企業等経営強化法に基づく「経営力向上計画」の認定制度も始まっている。計画を立て、それに基づき資金調達も勧めることによって効果的に事業再生ができるため。</p>	<p>◆政策等の案への反映結果 <input checked="" type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 反映なし</p> <p>経営改善計画等の策定により事業再生を図ることについては、既に「未・来Jobまつやま」での中小企業診断士による専門相談や、金融機関や商工会議所などの関係機関と連携した支援により行っており、これらは松山市中小企業振興計画に基づく「経営改善の支援」の取組に含まれております。関係機関との連携については、基本計画に表現されていませんでしたので、基本計画を修正いたします。</p>	<p>主な取り組み(3126)①を次のとおり修正しました。</p> <p>【修正前】 「松山市中小企業振興計画」に基づき、中小企業経営者の資質向上や勤労者の人材の育成、業務効率化などによる経営改善の支援を行うとともに、資金調達が容易となる融資制度や各種補助金の活用を促進し、中小企業や地場産業の経営基盤の強化を図ります。</p> <p>【修正後】 「松山市中小企業振興計画」に基づき、<u>関係機関と連携しながら</u>中小企業経営者の資質向上や勤労者の人材の育成、業務効率化などによる経営改善の支援を行うとともに、資金調達が容易となる融資制度や各種補助金の活用を促進し、中小企業や地場産業の経営基盤の強化を図ります。</p>
<p>◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>主な取り組み(3131)②の「就農希望者の受け入れ体制の構築を図るなど、多様な担い手の確保・育成」について、昨年、みかん栽培の農業ツーリズムを体験して、お手洗い、休憩場所などが充分整備されていない印象を受けたので、働くに当たり、働きやすい職場環境の整備も必要ではないか。</p>	<p>◆政策等の案への反映結果 <input type="checkbox"/> 反映 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p> <p>主な取り組み(3131)②の「就農希望者の受け入れ体制の構築を図るなど、多様な担い手の確保・育成を行う」には、働きやすい環境の整備も含まれておりますが、今後も、産地の維持・発展や担い手の確保等に向けて、いただいたご意見を参考に最大限の効果が得られる支援を実施していきたいと考えております。</p>	
<p>◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>主な取り組み(3221)の「観光都市としての魅力向上」について、松山市には道後温泉、松山城、夏目漱石、正岡子規など文化による観光資源は豊富だが、リピーターを増やすには全世代が楽しめるような新たな観光資源の開発、整備が必要だと思うので、例えば、興居島、中島などへのマリンレジャー施設の整備、柑橘をテーマにした資料館、テーマパークなど、新たな技術と組み合わせた構築が必要ではないか。</p>	<p>◆政策等の案への反映結果 <input type="checkbox"/> 反映 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p> <p>本市では、平成29年12月に「愛媛の伝統工芸」と「最先端のアート」を組み合わせた新たな施設「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」がグランドオープンしました。こうした新たな資源の活用や既存の観光施設等との連携により、本市を訪れる幅広い世代の観光客に楽しんでいただけるよう努めてまいります。</p> <p>ご意見につきましては、今後、観光誘客を進めるにあたっての参考とさせていただきます。</p>	
<p>◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>主な取り組み(4212)の「生涯学習環境の整備」について、現在、松山市には5箇所図書館が設立されているが、東部、西部、南部の地域から通うには少し距離があるように思う。他の自治体では、各地域に図書館が設立されている例もあり、移動図書館ではなく、もう少し、本が身近に感じられるよう、東部、西部、南部の地域にも図書館を設立するべきではないか。</p>	<p>◆政策等の案への反映結果 <input type="checkbox"/> 反映 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p> <p>市の西部方面には三津浜図書館があり、東部、南部方面は移動図書館が中心となりますが、大型商業施設や児童館などの長時間滞在する施設を増やしています。また、多様化する利用者の読書ニーズに対応するため、新たに児童館3館で予約本の受取りや図書の返却ができるサービスを開始しました。昨今の厳しい財政事情等を考えますと、新館の建設はきわめて難しい状況ですが、引き続き、施設館への来館が難しい方の利便性向上のための方策を検討してまいります。</p>	
<p>◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>主な取り組み(4312)①の「戦争体験者が高齢化していることを踏まえ、戦争の記憶と平和の尊さを次世代に継承する」を「戦争体験者が高齢化していることを踏まえ、<u>掩体壕等の戦争遺跡の保存を検討し、戦争の記憶と平和の尊さを次世代に継承する</u>」にしてはどうか。</p> <p>【理由】 軍が建築した航空機有蓋掩体を保存している方々も高齢化していることを踏まえ、語りや資料だけでは伝え切れないものを次世代に継承するための新たな教育機会として、戦争遺跡の史跡・公園の検討をすることが迫られているため。</p>	<p>◆政策等の案への反映結果 <input checked="" type="checkbox"/> 反映 <input type="checkbox"/> 反映なし</p> <p>掩体壕は、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝える象徴として保存していきたいと考えており、現在、市の文化財指定に向け手続きを行っているところですので、ご意見を踏まえ、基本計画を修正いたします。</p>	<p>主な取り組み(4312)①を次のとおり修正しました。</p> <p>【修正前】 …平和に対する意識の高揚を図るとともに、戦争体験者が高齢化していることを踏まえ、戦争の記憶と平和の尊さを次世代に継承するための新たな教育機会を創出し、平和行政を推進します。</p> <p>【修正後】 …平和に対する意識の高揚を図るとともに、戦争体験者が高齢化していることを踏まえ、<u>戦争遺跡として掩体壕を保存することなどにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に継承するための教育機会を創出し、平和行政を推進します。</u></p>

<p>◆類似意見の集約 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>主な取り組み(5312)の「ごみの減量・再使用・再生利用の推進」について、松山市は、ゴミの排出量が少ない都市であるが、環境保護に興味が高い人から見ると、なぜゴミの減量が必要なのか、充分理解されていないように思う。</p> <p>例えば、ゴミの廃棄処分する場所があと何年利用できるのかや、ゴミの減量による処分費用の減少により余剰資金をどのような分野に活用しているのかなど、ゴミの減量を推進する意義、メリットについてもう少し広報活動が必要ではないか。</p>	<p>◆政策等の案への反映結果 <input type="checkbox"/> 反映 <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p> <p>本市では、循環型社会を構築し、環境負荷を軽減するという方針のもと、基本計画にごみの減量等についての周知啓発に取り組むことを掲げています。これまでも、ごみ減量の必要性や重要性について、テレビやラジオ、広報紙など、あらゆる媒体を活用した市民啓発に取り組むとともに、小学生を対象とするごみ学習会や、公民館での説明会も実施してきたところです。今後も、ごみ減量を推進する意義やメリットについて、さらに市民の皆さまにわかりやすくお伝えするため、いただいたご意見を参考に進めてまいります。</p>	
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

★政策等の案の公表後、実施機関が自らの判断において修正した内容

修正内容		修正理由
修正前	修正後	
	→	
	→	